

谷口博文の政策イノベーション



Facebook が発表したあやしげな通貨・・・

仮想通貨とか暗号資産とか、ほんとに信用できるの？ 日本は治安がいいしキャッシュで何も困ってない。犯罪に利用されるかもしれない怪しげなデジタル通貨など徹底的に取り締まるべきだ、という人も多いと思います。

先週の G7 財務大臣会議でも最高水準の規制をかけるべきだと言っていたし、Facebook は米国議会で、当局の承認を得るまでは Libra を提供しないと表明しました。

ではこれでしばらく仮想通貨は下火になるのでしょうか・・・

ブロックチェーン（分散型台帳）技術は開発途上ですが、改ざんを防ぎ将来社会の信用を担う技術として大きく発展するでしょう。

サイバーレジリエンスに関してはこれからも大きな開発投資が行われ、さらに堅固なものになっていくでしょう。

事業者がマネーロンダリングやテロ資金対策、消費者・データ保護、公正取引の規制に服するのは当然のことです。

当局の承認を得るまでサービスを提供しない（できない）のは当たり前で、早くできるようにするために事業者は莫大な資金と労力をつぎ込むのです。

そして遠くない時期に金融当局の承認を得ることになるでしょう。国家に敵対する存在としてではなく協力者として、中国、ロシア、ヨーロッパを巻き込んだ覇権争いに勝つためです。

つまりリブラのような技術開発競争、ビジネスモデル競争は下火になるどころかこれから加速するのです。

お上からゴーサインが出るまでスタートしなかったら、相手は遥か見えないぐらい先を走っているでしょう。

では日本は？ 怪しい話は置いておいて、今度新札ができるのでそっちを推進？？
それはちょっと方向が違うんじゃないでしょうか！

↓ (英語のサイトが開きますが、最終ページの **language** で日本語に切り替えられます。)

<https://libra.org/ja-JP/white-paper/>